

# 令和6（2024）年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

施設名称	畜産振興センター（郡山石筵ふれあい牧場）	施設区分	事業実施型
施設所在地	郡山市熱海町石筵字萩岡2番2	指定管理者	公益財団法人郡山市観光交流振興公社
指定期間	令和6（2024）年4月1日～令和7（2025）年3月31日	施設所管部課	郡山市農商工部園芸畜産振興課

評価項目	評価基準	配点 (標準点)	【一次評価(指定管理者による自己評価)】		【二次評価(市による評価)】		
			点数	「標準点」以外の評価とした理由	点数	一次評価と異なる理由	
<b>I 市民の平等な利用の確保</b>							
1	平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。（例：使用許可、使用料等の減免、利用の制限 等）	2(1)	2	事業の参加に当たっては、定員を越えた場合は、抽選方式を取り入れ利用者の平等確保に努めている。	2	
2	危機管理、事故・災害・感染症等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。（例：マニュアル整備、訓練等）	2(1)	2	危機管理マニュアルにより訓練等を実施し、事故、災害時等の対応が出来る体制を整備している。	1	標準的な危機管理マニュアルが整備されており、危機管理等の対策が行われている。
小計			4	4		3	
<b>II 施設の効用の最大限の発揮</b>							
3	管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。	4(3)	3		3	
4	事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。サービス向上の取り組みがなされているか。	10(5)	8	冬期間の土日祝日を、雪遊び、給餌体験として開放し、市民サービスに務めた。	7	・利用者数が前年度より増加した。 ・モルモットレース等新規事業が提案された。
5	広報・PRの実施	利用促進のための取り組みを実施しているか。（例：事業の開催案内、ホームページの管理 等）	4(3)	4	ホームページをリニューアルし、利用者に見やすく・使いやすくすることで施設のPR及び利用促進に努めた。	4	
6	接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4(3)	3		3	
7	苦情・要望の把握・対応	利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。（記録簿整備を含む。）特に重要な事案については、遅滞なく市へ報告しているか。	4(3)	3		3	
8	市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。（例：施設間の回遊・相互利用、地元とのタイアップ、積極性 等）	4(3)	3		3	
9	利用者ニーズの把握・反映のための取組状況	利用者アンケートを適切に実施し、改善すべき事項やニーズへの対応を図っているか。	3(2)	2		2	
小計			33	26		25	
<b>III 管理経費の縮減</b>							
10	帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。契約にあたり、適正な経費算定（積算）が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。	5(3)	5	公社規程に則り適正に管理・執行し、公認会計士による財務指導・確認を受けるなど、正確性を期している。	5	
11	収入確保・支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取組みを推進しているか。指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。	5(3)	4	目標額を適切に設定し、収支バランスを把握しながら効果的に行った。	3	イベント等を実施し収入確保に取り組んでいる。
小計			10	9		8	

IV 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤							
12	人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	5(3)	4	有資格者を適切に配置し、職員のスキルアップのために、積極的に研修会に参加するなどして、技術力向上にも努めた。	3	・仕様書通り、有資格者を確保、配置している。 ・業務に支障が生じていない適正な職員配置で、ほぼ要求水準通りの成果がある。
13	収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	5(3)	2	預託牛の頭数が目標数値に達することができなかったため、減収となった。畜産業を廃業している農家も多くなっているが、畜産農家の労力軽減のためにも預託牛を増やし収入確保に努めたい。	2	
14	連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切にしているか。市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。	5(3)	4	協定書に基づき、市への協議等を適切に実施した。	4	
小計			15	10		9	
V 適切な施設の維持管理							
15	施設・設備の保守管理	法定点検が確実に行われているか。施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。(修繕を含む。)	10(5)	7	法定点検・日常点検を実施し適切な管理に努めているとともに、随時施設内を巡回し、破損等の早期発見・早期修繕に努めている。	7	
16	安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	4(3)	3		3	
17	清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	4(3)	4	日々施設内を巡回し、清掃や掲示物等のチェックを行い、衛生面にも徹底し利用者が快適に過ごせる環境づくりに努めている。	3	・利用者が快適に利用できる状態が保持されている。 ・指定管理施設にふさわしくないチラシ等の掲示がない。
18	管理上必要な物品の管理	管理上必要な物品が適切に管理されているか。	1(1)	1		1	
19	持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。(例：持ち込み物品等管理簿、表示 等)	1(1)	1		1	
20	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2(2)	2		2	
21	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2(2)	2		2	
小計			24	20		19	

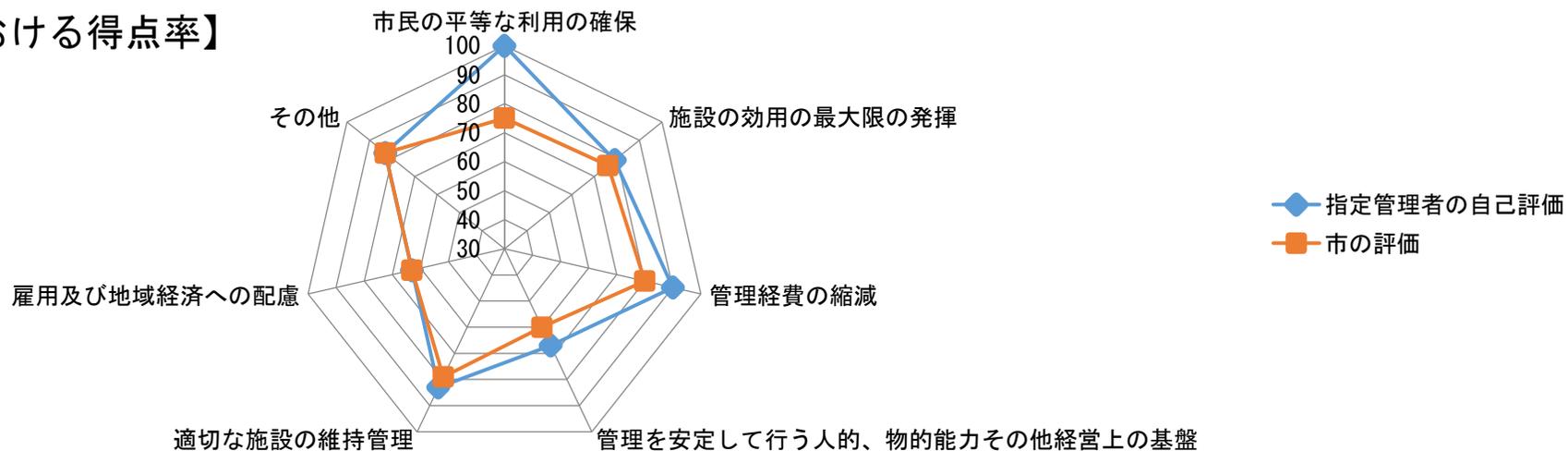
VI 雇用及び地域経済への配慮						
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。労働条件への配慮は十分か。	3(2)	2		2
23	地域経済への配慮 (地元採用・地元発注)	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。再委託は計画通り適正に行われているか。市内事業者への再委託を行っているか。	3(2)	2		2
24	地域経済への配慮(経済波及効果の広範性)	広範な経済波及効果が見込まれる取組みを実施したか	2(1)	1		1
小計			8	5		5
VII その他						
25	活動指標(アウトプット)の達成状況	設定した指標の目標値(開館日、提案事業における来場者参加型イベント数)を達成しているか。	2(1)	2	(開館日248日・提案事業における来場者参加型イベント数21件) 不可抗力による臨時休場日は除く	2
26	成果指標(アウトカム)の達成状況	設定した指標の目標値(施設利用者数)を達成しているか。	2(1)	1	目標数値92,000人に対し76,528人 83.1%	1
27	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか 地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか	2(1)	2	市と密接に協議しながらの管理運営を図った。また磐梯熱海観光協会や中ノ沢・沼尻温泉組合等と協力して相互の利用者増のための活動を行った。	2
小計			6	5		5
合計点			100	79		74

実績						
	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	令和9(2027)年度	令和10(2028)年度	合計
指定管理料 (千円)	97,293					97,293
利用料金収入 (千円)	12,257					12,257
利用者数 (人)	76,528					76,528
二次評価 (市の評価)	A					
備考	3月22日(土)再オープン予定が給水設備に不具合があり、翌月に延期。					

## サービス向上対策

- 利用者数の増加及び満足度向上のため、当社の剰余金を活用して、おもしろ自転車を新規導入(5台)した。
- 場内の掲示板にQRコードを活用した利用者の声を把握するためのアンケートを実施し、サービス向上に努めた。
- 無料招待券付きチラシを年4回(春・夏・秋・3月)に拡充し、市内及びこおりやま広域圏内の小学生他に配布し誘客促進、利用サービスに努めた。
- 暑さ指数(WBGT)測定し場内3箇所へ表示して注意喚起を行うとともに、場内各所へミストを設置(7月~9月)し利用者への安全対策に努めた。

### 【各評価区分における得点率】



【一次評価（指定管理者による自己評価）】

評価	点数	評価内容
A	79	<p>【総合評価（評価できる点等）】</p> <p>当社の家畜を活用して、誰もが気軽に体験できる事業を定期的実施するとともに、参加費用も低廉な価格で楽しんでもらうことにより、利用者数の確保に努めた。新規事業として、「アルパカの給餌体験」や「乳牛舎の見学ツアー」、夏休みには、小学生以下を対象に家畜の堆肥出しや給餌等の牧場の業務を体験できる「夏休み一日牧場体験」を実施し、家畜と触れて感じる(体験・体感)事業は教育的要素を踏まえており、参加者からは大変好評を得たところである。</p> <p>また、当施設のウェブサイト全体のデザイン構成・コンテンツ・機能を改善し、多言語にも対応できるようにリニューアルし、SNS活用による情報発信を積極的に行うなどして、施設のPRを幅広くして利用促進に努めた。</p> <p>【今後に向けて改善が必要な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●近隣において熊出没情報が増えていることから、当施設においても人身被害を防止するため、安全対策の構築が必要である。</li> <li>●近年の酷暑による突然の気象災害への対応や熱中症等による傷病者発生時の速やかな対応策の検討。</li> </ul> <p>【改善のための行動計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●熊の侵入による人身被害を防止するため、現在設置している電気柵周囲の除草作業の実施及び屋外スピーカーの増設</li> <li>●気象災害等（雷・熱中症等）による対策としてマニュアルを作成し、職員全員が共通認識をもち利用者の安全確保に努める。また、女性職員もAEDによる心肺蘇生法講習を受講することにより、性差を問わず来園者の事故及び急病等に迅速に対応できるようにする。</li> </ul>

【二次評価（市による評価）】

評価	点数	評価内容
A	74	<p>【総合評価（評価できる点等）】</p> <p>○畜産振興センターの特性を活かした、家畜と触れて感じる(体験・体感)新規事業として、「アルパカの給餌体験」や「乳牛舎の見学ツアー」、「夏休み一日牧場体験」等を実施し、利用者の満足度を高め、また、利用者数及び利用料金収入が増加した。</p> <p>○ウェブサイトのデザイン構成・コンテンツ・機能を改善するとともに、多言語にも対応できるようにし、SNS活用による情報発信を積極的に行うなどして、利用促進に努めた。</p> <p>【今後に向けて改善が必要な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○こおりやま広域圏内も含めた預託放牧事業の一層の推進。</li> <li>○施設、イベント、牛乳加工品PRの更なる強化。</li> </ul> <p>【改善に向けて指定管理者に取り組んでほしい点及び市が取組む事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○熊等野生鳥獣による人身被害防止の安全対策。</li> <li>○猛暑、豪雨等、気象災害の安全対策。</li> <li>○動物飼養、食品加工技術の承継。</li> <li>○適切な補修による、施設全体の老朽化への対応。</li> </ul>